

## 令和5年度第1回資金管理委員会議事録要約

[開催日時] 令和5年8月4日(金) 13時00分～15時00分

[開催場所] 兵庫県庁(WEB会議で開催)

[出席者(会長◎)]

- ◎ 甲斐 良隆 京都情報大学院大学教授
- 石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部長/チーフエコノミスト
- 開本 浩矢 大阪大学大学院経済学研究科教授
- 藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授
- 水上 拓也 地方公共団体金融機構 地方支援部 参事
- 米田小百合 公認会計士

### 1 令和5年度民間資金の調達

- ひょうごグリーン県民債については、地域住民の資金を地元に戻す仕組みと言えるが、こうした資金の地産地消はさらに加速化させて欲しい
- 今年度の公募債については、大半を上半期に前倒し調達しているが、定例的な発行により投資家基盤を拡充し、安定的に資金を調達するという観点にも配慮すべき。

### 2 関連公社等の資金運用状況

- 従前から比較すると、高リスク商品の保有は減少してきており、状況は順調に改善している。
- 株式相場や金利が上昇する中で、金融機関からの高リスク商品の売り込みに、あらためて注意するとともに、高リスクの金融商品に安易に手を出さないようチェックが必要。